



## TruePosition が、データ復旧時間を 48 時間から数分に短縮

政府、公共安全ネットワークやアプリケーションプロバイダに地域情報ソリューションを提供する TruePosition は、テープへのバックアップで貴重な IT 時間を費やしてまいした。同時にデータ損失のリスクが高まり、大規模で多様なデータを処理できるソリューションを検討する必要がありました。リソースを集中的に使用するバックアップ&リカバリシステムを、管理が簡単で、70TB のデータを高速でバックアップ可能な Arcserve UDP Cloud Direct の BaaS に置き換えました。



業 種：対事業所サービス  
所 在 地：ペンシルバニア州 バーウィン  
導入製品：ARCserve UDP CLOUD DIRECT  
導入年月：2014 年

### 概 要：

- 70TB のデータ
- 8 つの SQL データベース/SAP の財務データ
- テストデータ、統合テスト、バグ修正、パッチを格納するフラットファイル

### 課題

TruePosition は、テープバックアップを管理するために貴重な IT 時間とリソースを費やしてまいした。同社は、クラウドを活用して大量のデータをバックアップできるソリューションを検討する必要がありました。

### ソリューション

TruePosition は、テープバックアップを管理するために貴重な IT 時間とリソースを費やしてまいした。同社は、クラウドを活用して大量のデータをバックアップできるソリューションを検討する必要がありました。

### 効果

データ復旧が簡素化され、復旧時間が 48 時間からわずか数分に短縮されました。

バックアップ管理が簡素化され、貴重な IT 時間を数時間節約し、IT チームはより重要な戦略的作業に集中できるようになりました。

## 課題

### 貴重な時間とリソースをテープ管理に費やす

Arcserve 導入以前の 2014 年の TruePosition は、テープバックアップに依存していたため、その管理が困難になりました。同社の専任 IT スタッフは、システム障害のトラブルシューティングや復旧に必要なテープの特定などの作業に週何時間も費やしていました。テープの定期的な手入れに加えて、遠隔地のストレージへの輸送に備えてラベルを貼ったり、テープを回転させるなど、日常的なメンテナンス業務が必要でした。

同社の IT チームはすでに他の作業負荷がかかっていたため、この作業は IT チームにとって負担でした。情報技術部長である Erick Panger 氏は、「日常的なタスクをなくすことと、バックアップを効率化しようと決めた理由です」と述べています。

### 多様で大量なバックアップデータ

同社の保有するデータは大容量でだったため、クラウドへのデータ転送を効率的に処理できるソリューションを見つけることが必須でした。「わが社は大量のデータを抱えて処理する多くのエンジニアを抱えていました」と Panger は述べています。

そのデータも本質的に多様で、8 つの SQL Server データベース、SAP の財務データ、統合テスト、ハードウェアテスト、新しいリリースビルド、バグ修正、パッチなどの重要なデータが含まれていました。新しいソリューションではデータを最適に保護することに加えて、日々の運用を遅らせないように迅速に行えることも重要でした。「私たちの懸念の 1 つは、処理を遅らせることなく、100Mbps のインターネット回線を介して 70TB のデータを保管する方法でした。」と Panger は語っています。

## ソリューション

### Arcserve で、遅延なくすべての重要なデータを保護

TruePosition は、大規模データと独自のストレージ要件により、クラウドベースのバックアップソリューションが確実にニーズにマッチすると考えていました。そこで行ったテスト導入で、WAN に最適化された Arcserve UDP Cloud Direct が正しい選択だと確認しました。「適切な計画と、Arcserve の WAN 最適化機能のおかげで、バックアップのパフォーマンスは問題になりませんでした」と Panger は述べています。

---

## 効果

### 高速なデータの復旧— 48 時間から数分に

クラウドバックアップサービスとして Arcserve を選択することで、TruePosition のデータ復旧時間が大幅に短縮されました。以前のソリューションでバックアップの復旧を実行すると、最大 48 時間以上かかる場合があります。適切なテープを見つけるのは非常に困難な作業だったからです。Arcserve のソリューションなら、適切なファイルを見つけて迅速にリストアできます。「右クリックして、コピー、貼り付けるだけで完了します」と Panger は述べています。「ファイルを共有 G ドライブから D ドライブに移動するようなものです。非常に簡単で、説明も不要です。また Arcserve のサポートは、現場での日常的な質問や問題解決に昼夜を問わず容易に利用できます」

### 簡単なクラウドバックアップ

Arcserve UDP Cloud Direct BaaS は簡単にインストールできるだけでなく、管理コンソールも簡単で、バックアップとリストア操作も容易になりました。「たった 2 分でバックアップレポートを確認できます。エラーが表示されなければ、日々の業務に進むことができます」と Panger 氏は語っています。「部門内のサポート担当者が他のタスクを実行できるようになり、バックアップは手間のかかる作業ではなくなりました」

バックアップと災害復旧(DR)を Arcserve UDP Cloud Direct に移行したことで、米国空軍と IT 業界での長年にわたる経験を持つ Panger 氏の期待通りに機能するようになりました。テクノロジー中心の時代に IT はビジネスに多大な影響を与えていますが、同社の IT チームは、より重要な戦略的取り組みに集中できるようになりました。

本資料は海外事例を翻訳したもので、日本国内でサポートしていない環境を含む場合があります。日本国内でサポートする環境の最新情報は以下の動作要件ページでご確認いただけます。

<https://support.arcserve.com/s/topic/0TO1J000000I5MxWAK?language=ja>

Copyright © 2019 Arcserve. All rights reserved. 参照するすべての登録商標、商標名、ロゴ等はそれぞれの所有者に帰属します。

本資料は、情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、本資料を「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、本資料に関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。